

令和6年度事業報告書

1 基本財産の造成状況

(単位：円)

区 分		金 額 (円)
行政	岩 手 県	10,000,000
	市 町 村	10,000,000
	小 計	20,000,000
民間	学校法人岩手医科大学	5,000,000
	一般社団法人岩手県医師会	5,000,000
	小 計	10,000,000
合 計		30,000,000

2 基本財産の運用状況

(単位：円)

運用先	種 別	当期末残高	基本財産 運用収入	運用実績 (年利換算)
三菱UFJモルガン スタンレー証券(株)	利付国債(20年) (2032/6/20)	19,905,213	332,441	1.67%
みずほ証券(株)	利付国債(20年) (2040/6/20)	9,904,864	46,059	0.46%
岩手銀行零支店	預金	189,923	125	0.06%
合 計		30,000,000	378,625	1.26%

3 庶務事項

(1) 役員の構成

(令和7年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	大 井 清 文	
副理事長	祖父江 憲治	岩手医科大学理事長
副理事長	本 間 博	一般社団法人岩手県医師会長
専務理事	今 野 秀 一	いわてリハビリテーションセンター副センター長(事務)
理 事	小 原 重 幸	岩手県医療局長
〃	佐 藤 義 朝	いわてリハビリテーションセンター長
〃	高 橋 昌 造	岩手県町村会代表(矢巾町長)
〃	武 田 哲	岩手県市長会代表(滝沢市長)
〃	野 原 勝	岩手県企画理事兼保健福祉部長
監 事	佐々木 政 徳	公認会計士
〃	古 舘 和 好	岩手県市長会事務局長

(2) 事務局の構成

(令和7年3月31日現在)

役 職	氏 名	備 考
事務局長	伊 勢 貴	業務推進部長
事務局次長	鈴 木 光 将	業務推進部副部長（総務担当）
書 記	清 川 智 子	業務推進部副部長（経営企画担当）
〃	鎌 田 正 治	業務推進部副部長（医事担当）
〃	村 上 正 晃	業務推進課長(情報管理担当)
〃	矢田森 遥 香	主 事

(3) 理事会の開催

ア 第23回理事会

日時 令和6年6月6日（木）14時00分から

場所 ホテルニューカリーナ 2階 「アイリス」

議事 議案第1号 副理事長の選任について

議案第2号 令和5年度事業報告及び収支決算案について

議案第3号 令和6年度県出資等法人運営評価について

議案第4号 令和6年度定時評議員会の招集について

イ 第24回理事会

日時 令和7年3月10日（月）14時00分から

場所 エスポワールいわて 2階 「大中ホール」

議事 議案第1号 令和6年度収支補正予算案について

議案第2号 令和7年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 職員就業規程の一部改正について

議案第5号 令和6年度臨時評議員会の招集について

コロナ感染防止により開催中止とし、書面決議とした。

(4) 評議員会の開催

ア 第23回評議員会

日時 令和6年6月25日（火）14時00分から

場所 ホテルニューカリーナ 2階 「アイリス」

議事 議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和6年度県出資等法人運営評価について

イ 第24回評議員会

日時 令和7年3月25日（水）14時00分から

場所 エスポワールいわて 2階 「大中ホール」

議事 議案第1号 令和6年度収支補正予算案について

議案第2号 令和7年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書の時点修正案について

議案第4号 職員就業規程の一部改正について

4 事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

ア 1日平均入院患者数

	令和6年度	令和5年度	増 減
患者数（人）	88.7	90.1	▲1.4

イ 患者数の状況

（単位：人）

令和5年度末 入院患者数	令和6年度 入院患者数	令和6年度 退院患者数	令和6年度末 入院患者数
89	406	403	92

<参考>

令和4年度末 入院患者数	令和5年度 入院患者数	令和5年度 退院患者数	令和5年度末 入院患者数
83	429	423	89

ウ 平均在院日数

	令和6年度	令和5年度	増 減
在院日数（日）	79.0	76.4	2.6

エ 退院先

令和6年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数（人）	298	62	43	403
構成割合（％）	73.9	15.4	10.7	100

<参考>

令和5年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数（人）	321	62	40	423
構成割合（％）	75.9	14.7	9.4	100

オ 入院患者の疾患別内訳

令和6年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数（人）	245	23	86	32	20	406
構成割合（％）	60.3	5.7	21.2	7.9	4.9	100

<参考>

令和5年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数（人）	251	44	66	48	20	429
構成割合（％）	58.5	10.2	15.4	11.2	4.7	100

カ 主な保健医療圏別患者数

※前掲（1）Aイの入院患者数の内訳

令和6年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数（人）	188	48	43	12	24	16	35	40	406
構成割合（％）	46.3	11.8	10.6	3.0	5.9	3.9	8.6	9.9	100

※その他の内訳：久慈10人、両磐20人、県外10人

<参考>

令和5年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数（人）	199	47	43	20	35	27	26	32	429
構成割合（％）	46.4	11.0	10.0	4.6	8.2	6.3	6.0	7.5	100

※その他の内訳：久慈15人、両磐10人、県外7人

キ 平均年齢 (単位：歳)

令和6年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	64.5	68.7	66.0

<参考> (単位：歳)

令和5年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	64.0	68.4	65.5

B 外来患者の状況

令和6年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数(人)	2,630	507	87	77	597	232	345	0	1,845

<参考>

令和5年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数(人)	2,926	529	66	73	540	310	303	0	1,821

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	32,370	32,964	▲594	
	1日平均患者数	88.7	90.1	▲1.4	
外 来	延患者数	2,713	2,926	▲213	
	1日平均患者数	11.2	12.0	▲0.8	

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減	備 考
泌尿器科	507	529	▲22	
耳鼻咽喉科	87	66	21	
眼 科	77	73	4	
歯 科	597	540	57	
循環器内科	232	310	▲78	
糖尿病代謝内科	345	303	42	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

令和6年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数(人)	52	8
延訪問回数(回)	3,032	362

<参考>

令和5年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数(人)	46	6
延訪問回数(回)	2,697	301

E 通所事業の状況

令和6年度	通所リハビリ
実利用者数(人)	22
延利用回数(回)	920

<参考>

令和5年度	通所リハビリ
実利用者数(人)	20
延利用回数(回)	889

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

令和6年度	169件
令和5年度	161件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

① 雫石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席

派遣回数5回、派遣職員数延17人

② 市町村主催の「シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」講師等派遣

派遣回数12回、派遣職員数延19人、被指導者数延99人

③ 市町村主催講演会の講師派遣

派遣回数9回、派遣職員数延9人、受講者数326人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施

開催回数4回、派遣職員数延35人、被指導者数延76人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年4回、関係機関に送付及びホームページに掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（WEB）

・広域支援センター圏域連絡協議会への出席、研修会への講師派遣等
8圏域、13回（うちWEB9回）及び県外1回、従事職員数延26人

E 保健福祉等高齢者施設職員等研修会

・呼吸リハビリテーション研修会 開催回数1回、受講者数29人

・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延44人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

・相談支援コーディネーター4名及び地域支援コーディネーター4名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。

相談件数延べ1,004件、実人数110名

・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2回開催、出席者数延べ49名

・具体的な支援手法の検討を行うための圏域相談支援コーディネーター会議の開催
1回開催、出席者数延べ12名

・支援の普及に向けた研修会の開催
4回開催、参加者数延べ186名

・地域における支援体制整備のための支援

県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。

・事業周知のためのPR・広報活動の実施

「高次脳機能障害カルタ」の配布及び「自主トレプログラム動画」の配信並びに「ホームページ」や「メールニュース」を通じて、高次脳機能障害への理解と支援の拡大を図った。

G シルバーリハビリ体操指導者養成事業

15 市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・ 3 級指導者養成講習会（5 日間）
開催回数 2 回、従事職員数延 38 人、養成数 8 人
- ・ 2 級指導者養成講習会（4 日間）
開催回数 2 回、従事職員数延 38 人、養成数 21 人
- ・ 1 級指導者養成講習会（4 日間）及び実習（5 日間）等
開催回数 1 回、従事職員数延 30 人、養成数 11 人
- ・ フォローアップ研修会
開催回数 3 回、従事職員数延 21 人、参加者数 213 人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会
開催回数 1 回、従事職員数 9 人、参加者数 165 人
- ・ 市町村指導者代表（会長等）連絡会（WEB 開催）
開催回数 1 回、従事職員数 6 人、参加者数 46 人

H 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

- ・ 巡回相談

担当医師名	相談 回数	補装具相談件数（非該当を除く）							
		義手	義足	装具	車椅子	姿勢保 持装置	歩行器	その他	計
大井清文	6 回	1 件	16 件	25 件	15 件	4 件	0 件	0 件	61 件

- ・ 来所相談

担当医師名	相談 回数	補装具相談件数（非該当を除く）							
		義手	義足	装具	車椅子	姿勢保 持装置	歩行器	その他	計
佐藤義朝	7 回	3 件	38 件	18 件	17 件	0 件	0 件	0 件	76 件
阿部深雪	7 回	4 件	40 件	7 件	16 件	1 件	0 件	0 件	68 件
計	14 回	5 件	68 件	27 件	44 件	4 件	0 件	0 件	144 件

- ・ 書面審査（身障手帳・補装具）
佐藤義朝 12 回、46 件 阿部深雪 14 回、56 件 計 26 回、102 件

(3) 教育研修事業

A 患者家族教室

栄養教室 開催回数 11 回、参加者数延 65 人

B 学生受け入れ

延 20 校、実 169 人(延 772 人)

職 種	受入校	実人数
医師	1 校	118 人
看護師	2 校	29 人
理学療法士	8 校	8 人
(訪問リハ科受入)	1 校	2 人
作業療法士	4 校	8 人
言語聴覚士	3 校	3 人
臨床心理士	1 校	1 人

- C リハビリテーションセンター体験学習
・岩手医科大学医学部・歯学部介護体験実習
①（2日間×6名） 実6人、延12人

- D 講師派遣
学生講義、施設職員対象研修等 32回、受講者数延1,505人

- E 院内職員研修会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実技講習は人数を分散して開催し、研修は主にスライドや動画等を個人で視聴する形式で行った。
開催回数21回、参加者数延3,092人

時期	研 修 内 容	受講方法	受講人数
R6. 4 ～5	院内感染① 「医療従事者と患者さんの生命を守る手指衛生」	個人視聴	175名
R6. 5 ～6	医療安全① AED 実技講習 「一次救命処置(BLS)について」	実技講習 (5回)	167名
R6. 6	「FIM について①(総論)」	個人閲覧	148名
R6. 6	医療安全② 「R5年度インシデント・アクシデント(転倒転落)集計と分析報告」	個人閲覧	194名
R6. 7	「いまさら聞けない褥瘡の適切なアセスメントに必要な知識」	個人閲覧	136名
R6. 7	「FIM について②(運動項目)」	個人閲覧	130名
R6. 8	「診療報酬改定及び個人情報保護について」	個人閲覧	161名
R6. 8	「FIM について③(認知項目)」	個人閲覧	138名
R6. 9	多職種研修会 「回復期病棟管理栄養士10か条」	個人閲覧	145名
R6. 9 ～10	接遇研修 学研メディカルサポートeラーニング 「①接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～」 「②あいさつからはじまる接遇マナー信頼関係を築く医療接遇のあり方」	集合研修 (3回) 個人視聴	146名
R6. 11	学研メディカルサポートeラーニング 「医療職のためのメンタルヘルス対策」	集合研修 (3回) 個人視聴	162名
R6. 11 ～12	院内感染② 「季節で流行る感染症」	個人視聴	177名
R6. 12	医療安全③ 「身体的拘束最小化に向けて」	個人閲覧	146名
R7. 1 ～2	認知症研修① 「認知症の理解～国の考えを含めて～」	個人視聴	152名
R7. 2	認知症研修② 「認知症の診断と治療」	個人視聴	129名
R7. 2	学研メディカルサポートeラーニング 「臨床における倫理とは」	集合研修 (3回) 個人視聴	133名

時期	研 修 内 容	受講方法	受講人数
R7. 2 ～3	認知症研修③ 「BPSD への対応～その1～」	個人視聴	105 名
R7. 2 ～3	薬事関連研修 「管理の必要な薬品の取扱いと医療安全について」	個人視聴	141 名
R7. 3	認知症研修④ 「BPSD への対応～その2～」	個人視聴	109 名
R7. 3	認知症研修⑤ 「コグニサイズ」	個人視聴	127 名

F 普及啓発

いわてリハビリテーションフォーラム 2024

日時：令和6年11月9日（土）13：00～16：00

一般県民一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

メインテーマ：「災害後の暮らしと健康を守るために大切なこと～語り継ぐ災害後の生活～」

基 調 講 演：「災害後の暮らしと健康を守るために大切なこと～避難所環境とその支援～」

講師 国際医療福祉大学 教授 石井 美恵子 氏

会 場：アイーナ小田島組☆ほ～とオンラインのハイブリット開催

開催回数1回、参加者 会場106人・Web44人 合計150人、従事職員18人

（4）調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和6年度研究発表業績

ア 診療部

《医局》

1. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の8年間の活動と問題点～コロナ禍からの回復と新たな問題～
○大井清文、佐藤義朝、阿部深雪、遠藤英彦、森潔史、熊谷瑠里子
第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2024年6月14日
2. 脳卒中の回復期リハビリ過程における麻痺側筋緊張とF波所見の有用性
○佐藤義朝、熊谷瑠里子、森潔史、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文
西山一成、西村行秀（岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2024年6月16日
3. 回復期リハビリ病棟において完全側臥位法を実施した嚥下障害症例の帰結
○佐藤義朝、小笠原観菜、小川裕太、水野亮太郎、及川理佳子、大井清文
第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 福岡県 2024年8月30日
4. 高齢者の携帯電話の使用に関するアンケート調査報告～令和5年度雫石町健康教室参加者のデータから～
○大井清文、阿部深雪
第1回生活期リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2025年2月1日
5. 回復期から生活期へのシームレスな支援により復職を達成した脳出血の1例
○阿部深雪、熊谷瑠里子、森潔史、遠藤英彦、阿部深雪、佐藤義朝、大井清文
第1回生活期リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2025年2月2日
6. 地域基幹型の回復期リハビリセンターにおける医療連携のあり方
○佐藤義朝
回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌 北海道 2025年2月21日

イ 看護部

7. 多職種との情報の共有化への取り組み—ICF シートの活用を通じて—

○佐藤宏之、内野邦江、佐藤義朝（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌 北海道 2025年2月21日

ウ 機能回復療法部

《理学療法科》

8. いわて災害リハビリテーション推進協議会の10年間の実績報告と今後の活動について

○関公輔、佐藤英雄、大久保訓、渡部祐介、伊勢貴、佐藤義朝、大井清文、及川龍彦、藤原瀬津雄、猪川一裕、林雄史、西山一成、眞瀬智彦、西村行秀（岩手災害リハビリテーション推進協議会）

第24回岩手県理学療法学会学術大会 岩手県 2024年6月16日

9. 亜急性期における脊髄損傷不全麻痺者の自宅退院に関係している Functional Independence Measure (FIM) 項目の検討

○江口舞人、関公輔

第24回岩手県理学療法学会学術大会 岩手県 2024年6月16日

10. 基本動作に全介助を要した脳卒中両側片麻痺患者に対する理学療法～免荷装置付歩行訓練車を使用した歩行訓練により自立歩行を獲得した症例～

○石山佳祐

第24回岩手県理学療法学会学術大会 岩手県 2024年6月16日

11. 視神経脊髄炎に伴う歩行困難を呈し杖なし歩行を獲得した一症例に対する回復期病棟での理学療法の実践—歩行動作の改善に着目して—

○渡邊充、多田千春、中村一葉、関公輔、佐藤英雄、青山美音（医療連携部）

菊池よしえ（看護部）、佐藤義朝（診療部）

第42回東北理学療法学会学術大会 青森県 2024年9月7日

12. 右上腕神経叢麻痺を呈し発症後約5ヶ月で上肢機能の回復を認めた一症例—段階的な運動療法と物理療法の実践—

○小川貴大、多田千春、中村一葉、関公輔、佐藤英雄、熊谷瑠里子（診療部）

佐藤義朝（診療部）

第42回東北理学療法学会学術大会 青森県 2024年9月7日

13. 亜急性期脳卒中患者における日本語版 Trunk Impairment Scale (TIS) の信頼性の検証

○江口舞人、関公輔、佐藤弘樹（岩手県立中央病院）、宮田一弘（茨城県立医療大学）

水上昌文（茨城県立医療大学）

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡県 2024年9月28日

14. 脳卒中片麻痺患者における端坐位から背臥位になる動作の自立度と身体機能との関連性

○高山僚平、関公輔、田口惇、外館洸平、松本幸樹、佐藤元哉、松村和幸、佐々木優佳、佐藤晟也、原さあや、王安寧、牧野美里、高見彰淑（弘前大学）

第22回日本神経理学療法学会学術大会 福岡県 2024年9月28日

15. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の課題と今後の展開

○佐藤英雄、千葉柊兵、青山祐、渡部祐介、石川美弥子（地域支援部）、

今野秀一（業務推進部）、大井清文（診療部）

リハビリテーション・ケア合同研究大会山梨2024 山梨県 2024年10月3日

16. 当院における脳卒中患者の入院時体組成と栄養指標の分析と業務課題の検討

○小野寺一也、関公輔、高橋静恵（診療部）、佐藤義朝（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌 北海道 2025年2月22日

17. 積雪寒冷地域における脳卒中患者の屋外歩行に必要な対策—回復期リハビリテーション病棟を退院した脳卒中患者一症例の追跡調査を通して—

○菅野瑞紀、江口舞人、小野寺一也、関 公輔

回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌 北海道 2025年2月22日

《作業療法科》

18. いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転評価外来紹介患者の現状～傾向と対策および展望～
○大久保訓、小笠原未久、吉田雄哉、山本晶子、菅原慎、村田美歩、吉田賢史、後藤敦博（医療連携部）、上田大介（医療連携部）、佐々木由美（看護部）、阿部深雪（診療部）、佐藤義朝（診療部）
リハビリテーション・ケア合同研究大会山梨 2024 山梨県 2024 年 10 月 3 日
19. いわてリハビリテーションセンターの作業療法科で報告されたインシデントの傾向
○高橋右、大久保訓、山本晶子（在宅支援部）
第 36 回岩手県作業療法学会 岩手県 2024 年 10 月 6 日
20. コロナ禍における自宅訪問の実績からみた退院支援の現状と課題
○長山悦子、川畑智代、渡部祐介、大久保訓、山本晶子（在宅支援部）、佐藤義朝（診療部）
回復期リハビリテーション病棟協会第 45 回研究大会 in 札幌 北海道 2025 年 2 月 21 日

エ 在宅支援部

21. 上下肢痙縮に対するボツリヌス治療における当通所リハスタッフの関わり
○山下浩樹、山本晶子、佐藤義朝
リハビリテーション・ケア合同研究大会山梨 2024 山梨県 2024 年 10 月 4 日
22. 当センター訪問リハビリ利用者の利用期間と終了理由の調査
○高階欣晴、外下育美、佐藤義朝
リハビリテーション・ケア合同研究大会山梨 2024 山梨県 2024 年 10 月 4 日
23. 意欲低下と遂行機能障害、注意障害を呈する脳卒中患者に対し外来作業療法の実施で自動車運転再開を果たした事例
○山本晶子、佐藤義朝、吉田賢史（機能回復療法部）、大久保訓（機能回復療法部）
第 58 回日本作業療法学会 北海道 2024 年 11 月 9 日

オ 医療連携部

24. ソーシャルワーク部門としてのスーパービジョン体制の構築の取り組み
○上田大介、巢内洋肇、小笠原由梨乃、阿部泰子、青山美音、後藤敦博、大江みづほ、佐々木春美
第 44 回日本医療社会事業学会 大分県 2024 年 6 月 16 日
25. 入院費の支払い状況から患者・家族の経済的負担軽減に向けた介入の在り方を模索するーMSW と医事部門との協働による早期介入を目指してー
○後藤敦博、上田大介、巢内洋肇、青山美音
第 44 回日本医療社会事業学会 大分県 2024 年 6 月 16 日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年 1 回実施している。

第 56 回院内研究発表会 2025 年 3 月 5 日（水）16：20 ～ 17：15

対面・各部署へのライブ配信（zoom）

1. 「高次脳機能障害の患者の移乗動作、トイレ動作獲得までの関わり」
看護部 前田さとみ
2. 「右上腕神経叢麻痺を呈し、発症後約 5 か月で上肢機能の回復を認めた一症例」
機能回復療法部 小川貴大
3. 「訪問事業開始から 11 年の振り返り」
在宅支援部 高階欣晴
4. 「回復期リハビリ病棟において完全側臥位法を実施した嚥下障害症例の帰結」
診療部 佐藤義朝

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- ア データベースソフトの構築
- イ データベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データベース入力（約 6705 症例）
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

- ア データ管理ならびに集積情報のまとめ
- イ 集積データの分析ならびに研修会での提示

E 研究開発部からの派遣

県外で行われているイベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

F 研究開発部センター内情報発信活動

- ア これってな～に？？（院内向け）発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- イ 動画編集システムの管理、運営
- ウ 統計処理のアドバイス

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ CI 療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- ケ 自動車運転シミュレーターを用いた自動車運転能力の研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加・協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ いわて戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ データベース構築に関するシステム開発
- カ 日本神経外科学会データベース研究事業への調査協力
- キ 回復期リハビリテーション病棟協会調査への協力
- ク 日本リハビリテーション病院・施設協会調査への協力
- ケ 岩手大学との多チャンネル表面筋電位信号を用いた嚥下機能評価に関する共同研究
- コ 義足足継手の電動モーターによる駆動方式設計開発への動作解析協力
- サ レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査(J-ASPECT Study)の調査協力
- シ 対麻痺者向けの自動車手動運転装置に係る調査協力
- ス 岩手県内における就労支援リハビリテーションに関する調査および脳卒中意思決定支援調査協力